

令和二年七月

お同行各位

加賀山
六度満行院
満福寺

七月お寺の日のご案内

早くも梅雨が明ける季節となりました。「他府県への往来制限の解除」で人の行き来も徐々に増えてきている中、各地でコロナウイルス感染者がまた出始めていますが、第一波を超える第二波がこないことを祈るばかりです。皆さまお変わりなくお過ごしでしょうか。

七月十九日(日)のお寺の日は、六月の案内でお知らせしました通り、十分な感染症対策をした上で、満福寺で『念仏のつどい』の開催を今のところ予定をしております。

仏教では『聞く一つで救われる弥陀の本願』とあるように、まず仏教を学ぶということはお念仏を聞かせていただく心を大切にしながらと教えられています。私たちは普段、「きく」という言葉を 音楽を聴く、話を聞くなど、音や声を耳で感じるとするという意味で使いますが、他には聞いた内容を理解してそれに応じるという意味でも使います。

満福寺の玄関には「学佛大悲心」と書かれた大きな衝立があります。「学佛大悲心」とは阿弥陀様が苦しみ思い悩んでしまう私たちを一人残らず救ってくださるお慈悲の心を学ぶ(知る)ことを意味します。また、お念仏を聞くということは阿弥陀様のお慈悲の心を聞くということになります。頭で理解したり覚えたりするのではなく、全身でお慈悲の温もりを感じ、生かされている喜びに気付き、自らの力で幸せの道を一步ずつ歩んでいくことが、阿弥陀様のお慈悲の心を聞いて、それに応じることになります。

榎本栄一さんの詩に「私を見ていてくださる人があり、私を照らしてくださいくださる人があるので私はくじけずに今日を歩く」とあるよう学んで得られた知恵や知識より人のおかげを感じることにの方がずっと心に響くのです。いくら仏教を深く学んでも、お慈悲のぬくもりを感じなければ、喜びはありません。阿弥陀様のお慈悲は、私たちの目で見ることができませんが、仏教を繰り返し聞くことによつて仏さまのお慈悲を感じる事ができるのです。そのことが仏の大悲心を学ぶことに繋がるのだと思います。

今回、満福寺でお念仏の教えや音楽を聴いて頂いて、疲れた身体と心をリフレッシュして頂き、前を向いて生きていこうという力に気付いてもらえる機会になればと思っております。

合掌

◎ 七月十九日(土) 『お念仏のつどい vol.2』 午後一時半～
(二時間程度で終了予定)

◎ 八月お盆の行事についてのお知らせ

○ お墓回向 八月二日(日)～八日(土) 午前七時～午後四時

※ この間にお墓掃除とお参りを済ませて、ご先祖様をお迎え下さい。

※ 右記の日程中も法要の為、回向させて頂けない場合があります。

○ 棚経 たなぎょう

八月九日(日)より十六日(日)までの間に、各お檀家さま宅への夏の棚行のお参りをさせて頂きます。

㊦ 八月 十六日(日) 大文字送り火 お墓にお参り下さい。

㊧ 八月二十四日(月) 地藏盆 十時よりおつとめします。

※ 八月のお寺の日はお休みです。